

2009年度

科目名	保育実習指導				
担当教員	桜井 智恵子				
配当	教福4			コード	80014
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数	1
授業テーマ	保育実習にむけての事前学習と実習の総括				
目的と概要	<p>保育実習(保育所実習、施設実習、保育実習Ⅱ、保育実習Ⅲ)の事前指導と事後指導を行い、保育士業務の理解と保育実践力の向上を図ることを目的とする。</p> <p>事前指導では、実習を円滑にすすめるため、各実習現場で求められる知識・技術の再確認、実習内容と各自の実習課題の明確化を行う。また、実習に臨むに当たっての心構えや実習中における実習現場担当者、訪問担当教員からの指導等について学ぶ。事後指導では、実習で得られた各自の体験や学習内容を共有し、保育士業務の理解を深め、保育実践力の向上を図る。</p>				
成績評価法	平常点、授業時の発言・報告、レポート				
テキスト	使用しない				
参考書	適宜紹介する				
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の意義・目的・内容の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・保育士課程における各実習の位置づけ ・各実習の具体的内容の把握と実習計画全体の理解 2. 実習方法の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・実習の段階と具体的内容の理解 ・保育士の職務の理解 3. 実習施設の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・児童福祉施設(保育所を除く)の理解 ・保育所の理解 4. 実習への心構え <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利尊重の遵守と秘密保持 ・実習に臨む際の注意事項 5. 実習記録の意義と方法 <ul style="list-style-type: none"> ・記録の意義 ・記録の内容と記録方法 6. 保育所・施設の現場から学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の現状と保育士に求められる知識・技術 ・施設の現状と職員に求められる知識・技術 7. 実習に関する事務手続きの把握 <ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な書類等の確認と指導 8. 実習課題の明確化 <ul style="list-style-type: none"> ・実習課題とは何か ・各自の実習課題の設定 9. 保育計画と指導計画 <ul style="list-style-type: none"> ・計画の意味とその理解 ・計画案作成のための基礎的知識 10. これまでの実習から学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・実習報告、記録映像の解説と留意事項 11. 実習中における指導の理解 <ul style="list-style-type: none"> ・実習現場担当者と訪問担当教員の指導について ・実習中の連絡方法 12. 実習事後指導1 <ul style="list-style-type: none"> ・実習をふりかえる 13. 保育士登録に関する事務手続きの把握 <ul style="list-style-type: none"> ・必要書類等の確認と指導 14. 実習事後指導2 <ul style="list-style-type: none"> ・各自の課題設定とその成果 15. 実習事後指導3 <ul style="list-style-type: none"> ・残された課題 					